

ガルーダ・インドネシア航空

今回は、インドネシアのナショナルフラッグ・キャリアであるガルーダ・インドネシア航空（以下「ガルーダ航空」という）についてお話しいたします。ガルーダ航空は1949年に設立され、旧宗主国であったオランダキャリアの運航を引き継ぐ形で運航を開始、1954年に100%国有化されました。

インドネシア共和国を代表するガルーダ航空ですが、数年前まで評判は最悪でした。サービスはもちろん、安全性、遅延の多発など全てにおいて良い評判を聞かず、ガルーダ航空の利用を禁止している日系企業もあったぐらいです。また、EUは「安全性に問題がある」として、他の全てのインドネシアの航空会社とともにEU域内への乗り入れを禁止した時期もありました。

そんな酷い状況だったガルーダ航空も、ここ数年で新しい機材を増やし、安全性のみならずサービスも改善され、評価が急上昇しました。その証拠として、英国の調査会社スカイトラックス社の2013年「ワールド・エアライン・アワード」の中で、「エアライン・オブ・ザ・イヤー」第8位にランクインしました。「ワールド・エアライン・アワード」は、航空業界で最も権威ある賞の一つで、200以上の航空会社を対象に、世界160カ国で10ヶ月にわたり実施される調査に基づいて審査されます。評価項目は乗客の満足度やサービスなど、40以上の分野に及びます。日系航空会社の順位はというと、全日空は第4位、日本航空は第25位であり、ガルーダ航空の評価の高さが分かります。上位へのランクインは、機材更新やサービス向上が評価されたためといわれていますが、事実、2013年は新たに36機を導入しており、また、ボーイングB777-300型機4機の導入に伴い、ファーストクラスも新設しています。それだけでなく、2013年、同じくスカイトラックス社の「ワールド・ベスト・エコノミークラス」も受賞しました。これは、100以上の異なる国籍の1,800万人以上の人からの顧客満足度を調査した結果であり、エコノミークラスの満足度が最も高かったということになります。

ガルーダ航空の最大の特色は、日本発インドネシア行の航空会社の中で唯一、機内で入国手続きができることです（ただし、東京（成田）発のGA881便とGA885便、大阪（関西）発GA883便のみ）。これは、国営航空会社の特権ともいえますが、搭乗前のチェックインカウンターでビザ代金を支払うと、到着までの間に機内で、同乗した入国審査官が入国審査と到着ビザの発給を行います。到着後は専用ブースを通過してスムーズに入国ができるため、到着後に煩わしい手続きがなく、ビジネスパーソンに重宝されています。

評価改善、増便など、絶好調のガルーダ航空ですが、ドル高によるルピアの下落や、新規機材への投資が大きく影響して、2013年度の当期純利益は89.9%減の1,120万米ドル、営業利益は66.4%減の5,640万米ドルでした。また、関西空港～ジャカルタ間のフライトは週4日と運航が少なく、2012年まで運航していた中部国際空港～バリ島間のフライトも運休されたままです。現地の日系企業向けだけでなく、インドネシアから日本への観光客の増加も期待されながら、ジャカルタ・スカルノ・ハッタ国際空港の収容能力が一杯になっていることもあり、大幅な運航増加には至っていませんが、2014年6月15日から、羽田空港～ジャカルタ間の直行便が増便される予定です。この増便で、岡山空港からも羽田空港経由でジャカルタへ行きやすくなります。更なる利便性・サービスの向上、安全性の確保を目指し、インドネシアのナショナルフラッグ・キャリアとしての地位を築いていってほしいと思います。

以上

<これまでの岡山県インドネシアビジネスサポートデスクレポートは[こちら](#)から>

「ジャカルタ行フライトスケジュール」

※2014年3月30日～2014年10月25日

便名	出発地・出発時間 ⇒ 目的地・到着時間	運航日(出発)	備考
GA875	東京(羽田) 00:30 ⇒ ジャカルタ 06:00	毎日	6月16日(月)から就航予定
GA874	ジャカルタ 13:05 ⇒ 東京(羽田) 22:35	毎日	6月15日(日)から就航予定
GA889	大阪(関空) 12:00 ⇒ ジャカルタ 17:00	月・水・金・日	
GA888	ジャカルタ 23:20 ⇒ 大阪(関空) 08:15	月・水・金・日	
GA885	東京(成田) 12:00 ⇒ ジャカルタ 17:30	毎日	
GA884	ジャカルタ 23:30 ⇒ 東京(成田) 09:00	毎日	

「バリ島行フライトスケジュール」

※2014年3月30日～2014年10月25日

便名	出発地・出発時間 ⇒ 目的地・到着時間	運航日(出発)	備考
GA887	東京(羽田) 01:00 ⇒ バリ島 07:10	毎日	6月14日(土)まで
GA887	東京(羽田) 11:45 ⇒ バリ島 17:55	毎日	6月15日(日)から
GA886	バリ島 14:10 ⇒ 東京(羽田) 22:35	毎日	6月14日(土)まで
GA886	バリ島 00:25 ⇒ 東京(羽田) 08:50	毎日	6月15日(日)から
GA883	大阪(関空) 11:00 ⇒ バリ島 17:10	毎日	
GA882	バリ島 00:35 ⇒ 大阪(関空) 08:30	毎日	
GA881	東京(成田) 11:00 ⇒ バリ島 17:25	毎日	
GA880	バリ島 00:30 ⇒ 東京(成田) 08:50	毎日	

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク(P.T. J.C内)概要★

所在地: WISMA NUSANTARA BUILDING 24th Floor

Jl. M. H Thamrin Kav 59 Jakarta Pusat Indonesia 10350

デスク担当者: PT.JC 武井 和宏(たけい かずひろ)

対象エリア: インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています(岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託)。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。岡山県産業企画課マーケティング推進室(電話 086-226-7365)までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。